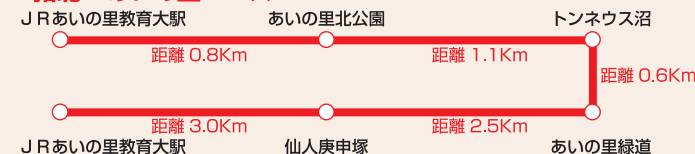




あいの里は、北区の最北東端に位置し、徳島県出身の入植者が明治15年にこの地で藍の栽培を成功させた、藍栽培ゆかりの地です。その功績を称える碑が今も残ります。また、コース沿いに「あいの里」竣工記念碑、あいの里開発記念之碑が点在し、あいの里の歴史を再発見することができます。

Point! コースポイント

拓北・あいの里コース



あいの里せせらぎ緑道

ペケレット沼



トンネウス沼

ここがみどころ

トンネウス沼

あいの里公園内の周囲 1km の遊歩道に囲まれた沼で、市民の憩いと静寂感を満喫できる散策路です。沼にはアジイトンボ等が生息しているために平成2年の地域造成の竣工時から自然の状態に維持し今日まで存続させています。

あいの里緑道

新興住宅街と国道との境に遊歩道として1号から6号までの緑道が整備され、多くの市民に利用されています。あいの里教育大駅からあいの里北公園を経て、トンネウス沼遊歩道に通じる緑道との環状距離は6kmに及び、植樹林は季節感がある最適なコースです。

地図上の数字は『北区歴史と文化の八十八選』の番号です。

「北区歴史と文化の八十八選」
モバイルガイド



※コース内の点線はショートコースです。